

令和7年度大阪府献血推進審議会

日 時 令和8年1月29日(木)
午後2時～午後4時
開催場所 KKRホテル大阪2階 「白鳥」

1 開 会

2 議 題

(1) 令和8年度大阪府献血推進計画(案)について

3 報 告

- (1) 大阪府における血液事業の現況
- (2) 献血推進に係る大阪府の取組み
- (3) 大阪府学生献血推進協議会活動報告

4 そ の 他

5 閉 会

配布資料

- ・ 委員名簿
- ・ 配席図
- ・ 【資料1-1】令和8年度大阪府献血推進計画(案)
- ・ 【資料1-2】令和8年度大阪府献血推進計画(案) 新旧対照表
- ・ 【資料2】大阪府における血液事業の現況
- ・ 【資料3】献血推進に係る大阪府の取組み
- ・ 【資料4】大阪府学生献血推進協議会活動報告
- ・ 【参考資料1】大阪府献血推進審議会規則
- ・ 【参考資料2】災害時輸血用血液製剤供給マニュアル(案)
- ・ 【参考資料3】大阪府災害時輸血用血液製剤マニュアルについて

大阪府献血推進計画

大 阪 府

令和 8 年（2026 年）●月

目 次

第1	目的及び基本理念	1
	1. 目的	1
	2. 基本理念	1
第2	計画目標.....	1
	1. 献血者数、献血血液量	1
	2. 年代別献血者数	2
	3. 献血セミナー数	2
第3	献血推進.....	2
	1. 役割	2
	2. 推進体制の整備	3
	3. 方策	4
<資料>	令和8年度献血目標	8

大阪府献血推進計画

第1 目的及び基本理念

1. 目的

大阪府をはじめ全国的に少子高齢社会が進行する中、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の国内自給の原則に基づき、大阪府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターが連携し、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や、効率的な献血の実施を図り、年間を通じて献血者を安定的に確保することにより、府内で必要とされる輸血用血液を医療機関に安定的に供給することを目的とする。

2. 基本理念

大阪府の献血推進に当たっては、以下の基本理念にのっとり進めるものとする。

(1) 血液製剤の国内自給

血液製剤は、原料である血液を介した感染症等の発生の危険性を完全には排除できないものであり、国内献血に由来する血液製剤であれば感染源の特定・回収等の対応が迅速に取りやすいことから、国内で献血された血液から製造されるもので賄わなければならない。

(2) 安全性の向上

血液製剤は、原料である血液の特性から、常に安全性向上の努力が必要である。また、使用にあたっては、危険性に対する配慮が求められる。

(3) 適正使用の推進

血液製剤が人の血液に由来する有限で貴重なものであることから、医療機関において血液製剤の適正使用を一層推進することが必要である。

(4) 血液事業の情報の公開

血液製剤は、献血者の善意から得られた血液を用いていることから、情報を積極的に府民へ提供する必要がある。

なお、本計画は、平成27年（2015年）9月に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）」の理念を踏まえたものであり、各取組の推進により、関連するゴールの達成に貢献する。



第2 計画目標

1. 献血者数、献血血液量

国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。

①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
献血者数（人）	4,559	249,515	85,267	45,556	384,897
献血血液確保目標量（L）	912	99,806	49,239	24,864	174,821

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

②採血場所別献血者数

採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）
献血者数（人）	19,543	259,249	106,105

③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量

原料血漿確保目標量： 93,610 L

輸血用血液確保目標量：81,211 L

（詳細は資料参照）

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数（人）	構成比 ^{※1※2}	献血者率 ^{※3}
10代（16～19歳）	19,599	5.1%	6.3%
20代（20～29歳）	65,500	17.0%	6.5%
30代（30～39歳）	66,300	17.2%	6.7%
40代以上（40～69歳）	233,498	60.7%	6.7%
合計	384,897	100.0%	

※1：年代別目標献血者/目標献血者数合計

※2：表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合がある。

※3：年代別目標献血者/府における該当年齢別人口（令和6年）

3. 献血セミナー数

これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。

「献血セミナー」開催目標回数：50回

第3 献血推進

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、それぞれ分担する業務を確実に遂行するとともに、十分な連携を図り、国が策定する基本方針を踏まえながら、府民、学生献血推進ボランティアをはじめ各種献血協力団体の理解と協力のもとに献血を推進する。特に、将来に亘る血液の安定供給につながる若年層への啓発に取り組む。

1. 役割

(1) 府

府は、翌年度の大阪府献血推進計画を策定する。その場合、大阪府献血推進審議会において審議するものとする。また、広域的な広報・啓発を通して広く府民の理解と協力を求めるため、市町村献血推進協議会の活動を支援するとともに、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター、市町村等の相互間の調整を行い、円滑な献血推進に努める。

(2) 市町村

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターと連携のもとに、市町村管内の献血者の計画的な確保に努める。

また、市町村献血推進協議会と連携し、地域における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

(3) 日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター

本府の献血確保目標を達成するため、献血受入計画を策定するとともに、近畿ブロック血液センターと連携をしながら、採血から製造、供給に至るまでその効率化を図り、献血血液の有効利用に努める。

また、血液製剤の安全性の向上及び安定供給に協力するとともに、献血者等の保護に努める。

2. 推進体制の整備

目標を達成するため、行政機関、血液事業関係者、民間企業、ボランティア献血組織等の府全体の献血推進組織体制を整備し、連携の強化に努める。

(1) 府

①大阪府献血推進審議会の開催

大阪府における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や血液製剤の適正な使用に関する施策について審議する。

②市町村・市町村献血推進協議会等との連携

大阪府における献血状況、献血目標、事業計画を会議等で示し、市町村、市町村献血推進協議会、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターとの連携を図り献血を推進する。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

④広域的な献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発体制の整備に努める。

⑤献血血液を有効に使用するため、医療機関における血液製剤の適正使用を推進する。

(2) 市町村

①市町村献血推進協議会等の開催

市町村において献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発並びに年間を通じた計画的な献血者の確保等、地域の献血に関する重要事項を協議する。

②地域住民への献血への理解と協力を求めるため、研修会、街頭キャンペーン、広報等の実施体制の整備に努める。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

(3) 日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター

- ①府、市町村との連携・協力のもとに、献血者への正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発と受入体制の整備を図る。
- ②献血協力団体の組織等の育成及び献血者の円滑な受入体制の整備に努める。
- ③企業等に対して、献血セミナーを実施し、献血の推進を図るとともに、献血に協賛する企業の円滑な受入れに努める。

(4) 教育委員会・学校

小学校・中学校・高等学校の総合的な学習（探究）の時間等において、“献血セミナー”を活用する等、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

また、府、市町村等が実施する献血推進イベント等の周知並びに参加を通し、児童・生徒へ献血の知識等の普及ができる体制を整備する。

(5) 献血協力団体

移動採血車等の受入れ時に関係者等と連携し、積極的に協力を呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りを推進することが望ましい。

3. 方策

(1) 普及啓発

献血は府民の善意によるものであることから府民啓発は必要不可欠であるので、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、ボランティア等関係者の理解と協力を得て、ポスター、動画等の啓発資材の活用、各種イベントの実施、推進月間でのキャンペーンの実施、マスメディアによる継続的な広報、SNSを含むインターネットの活用等を行うことで、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発を実施する。

1) 若年層献血の推進

小学校・中学校・高等学校、大学及び専門学校における“献血セミナー”の開催や、“献血セミナー”等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等への献血Web会員サービス「ラブラッド」の登録の働きかけ、若年層による献血キャンペーン等を実施することで、若年層の献血への参加を一層推進する。

特に高校生等の献血時には、400mL献血の基準に満たない場合、200mL献血による受入れも考慮する。

2) 複数回献血の推進

血液製剤の安全性の向上及び安定的な確保を図るために、「ラブラッド」会員募集を強化するとともに、「ラブラッド」を活用し、献血等に関する情報の提供など利用者へのサービス向上を図り、複数回献血者の増加に努める。

特に若年層に対し、上記1)等の取組を通じて、複数回献血の推進を図る。

3) 400mL献血、成分献血の推進

献血量の効率的な確保と安全性を高めるために400mL献血、成分献血の一層の推進に努める。

また、近年需要が増大している免疫グロブリン製剤等の血漿分画製剤について、献血から得られた血液を原料とすることや、多くの疾患の治療に欠かすことができないこと

などを周知するとともに、安定供給が確保されるよう、成分献血への協力の呼びかけを強化する。

4) 検査目的の献血の防止

感染症の検査を目的とした献血を防止するための啓発を実施する。特にH I V検査については、下記の点を周知する。

- ・血液センターでは、献血によるH I V検査の結果は通知していない
- ・府内保健所等で匿名かつ無料でのH I V検査を行っている

5) 採血基準の周知

採血基準について、引き続き関係機関への周知や広報等を利用し、情報発信を行う。

(2) 献血推進の環境整備

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは、献血者の受入体制を整備する観点から、身近な地域・場所で献血を行うことができるように環境を整備する。

また、府及び市町村等は、その構成員に対し、ボランティア活動である献血に対し積極的に呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りに努める。

①大阪府赤十字血液センター

- 1) 「献血者等の健康被害の補償に関するガイドライン」に基づき、健康被害に対する救済のための措置を実施する。
- 2) 採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知することで健康管理サービスの充実を図る。
- 3) 献血希望者に対して、個人情報取り扱いや血液の利用目的等の説明を行い、同意を得た上で、献血を受け入れる。
- 4) 特に初回献血者が抱えている不安等を軽減することはもとより、献血者の安全確保を図ることが必要である。このため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を採血の度ごとに十分に行う。
- 5) 献血ができなかった献血申込者に対し、その理由（低ヘモグロビン等）について分かりやすく説明するとともに、食事・生活管理の改善に関する啓発を行うなど、その後の献血推進への協力を繋がるよう配慮する。
- 6) 新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、献血者が安心して献血できるよう感染症対策を十分に行うとともに、献血者への対策についての情報発信を適切に行う。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

- 1) 年間を通して献血者の安定確保ができるように、移動採血車による計画的採血及び献血場所の利便性の向上に努める。
- 2) 献血者に配慮した献血受入時間帯の設定等、献血者の利便性に配慮した献血受入体制の整備及び充実を図る。特に、「ラブラッド」を活用したWEB予約の推進等に積極的に取り組む。
- 3) 企業等の献血協力団体の理解と協力を得て、効率的な献血が行えるように体制整備に努める。特に若年層の労働者の献血への参加を一層推進する。

(3) 血液製剤の安全性確保

血液製剤の安全性確保のために、以下の方策を講じる。

①大阪府赤十字血液センター

献血受付時に本人確認を行い、より安全な血液を確保するために、H I V等の感染症の検査を目的とした献血を行わないよう、平素から様々な広報手段を用いて、府民に周知徹底する。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

- 1) 血液製剤の安全性向上のために、400mL献血、成分献血の一層の推進を図る。
- 2) 血液製剤の安定供給や安全性確保のために、複数回献血者の確保に努める。

(4) 血液製剤の適正使用

府、大阪府赤十字血液センターは、各医療機関における血液製剤の適正使用の推進を図り、院内の輸血管理体制を構築するために設置されている輸血療法委員会の活性化の推進に努める。

(5) ボランティア等の育成

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは相互に連携し、ボランティア等協力団体に献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての理解と協力を求め、献血推進の活性化につなげる。

また、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、教育委員会等の協力を得ながら、職域、地域、学校等におけるボランティア等協力団体の育成に努め、献血推進の活性化を図る。

(6) 情報の公開

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは献血及び血液製剤に関する情報を積極的に公開する。

- 1) 献血者の個人情報保護のもとに、献血血液の確保・利用状況や血液製剤の安全性に関する情報をわかりやすい形で広く府民に公開する。
- 2) 現在開設しているホームページを充実させ、積極的かつ継続的に情報を提供する。

(7) 血液製剤の在庫状況の把握と不足時の対応

①府

赤血球製剤等の在庫状況を常に把握する。また、在庫が不足または不足すると予測される場合、広報による献血協力呼びかけ、臨時的に府職員献血等の実施、関係団体等への献血依頼等により、献血者の確保に努める。

②市町村

必要に応じて府等により提供される赤血球製剤等の在庫状況により府内の現状を把握し、在庫が不足または不足すると予測される場合、市町村献血推進協議会との連携等により、臨時的に地域献血や市町村職員献血等を実施し、献血者の確保に努める。

③日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター

府内の在庫状況を常に府へ情報提供するものとする。在庫が不足または不足すると予測される場合、献血協力呼びかけの強化を行う。また、受付時間の延長、配車計画の見直し等により、献血者の円滑な受入れに努める。

(8) 災害時、新興・再興感染症まん延時等における献血の確保

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、互いに連携を図り、以下の方策を講じる。

- 1) 災害時等に医療需要に応じた必要な血液量を確保できるよう、様々な広報手段を用いて、献血への協力を呼びかける。その際、大阪府赤十字血液センターは、被害状況等の情報収集を行ったうえで、献血受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十分に配慮する。
- 2) 大阪府赤十字血液センターは、災害時等における献血受入体制を構築し、関係者との通信手段の確保、広域的な需給調整の対応を含む事業継続計画を定め、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部と連携して対応できるよう備えることにより、災害時等における献血の受入れを行う。
- 3) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、大阪府赤十字血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段（テレビ、ラジオ、SNSを含むインターネット等）を用いて、献血者への協力を呼びかける。また、府及び市町村はこの取組を支援する。

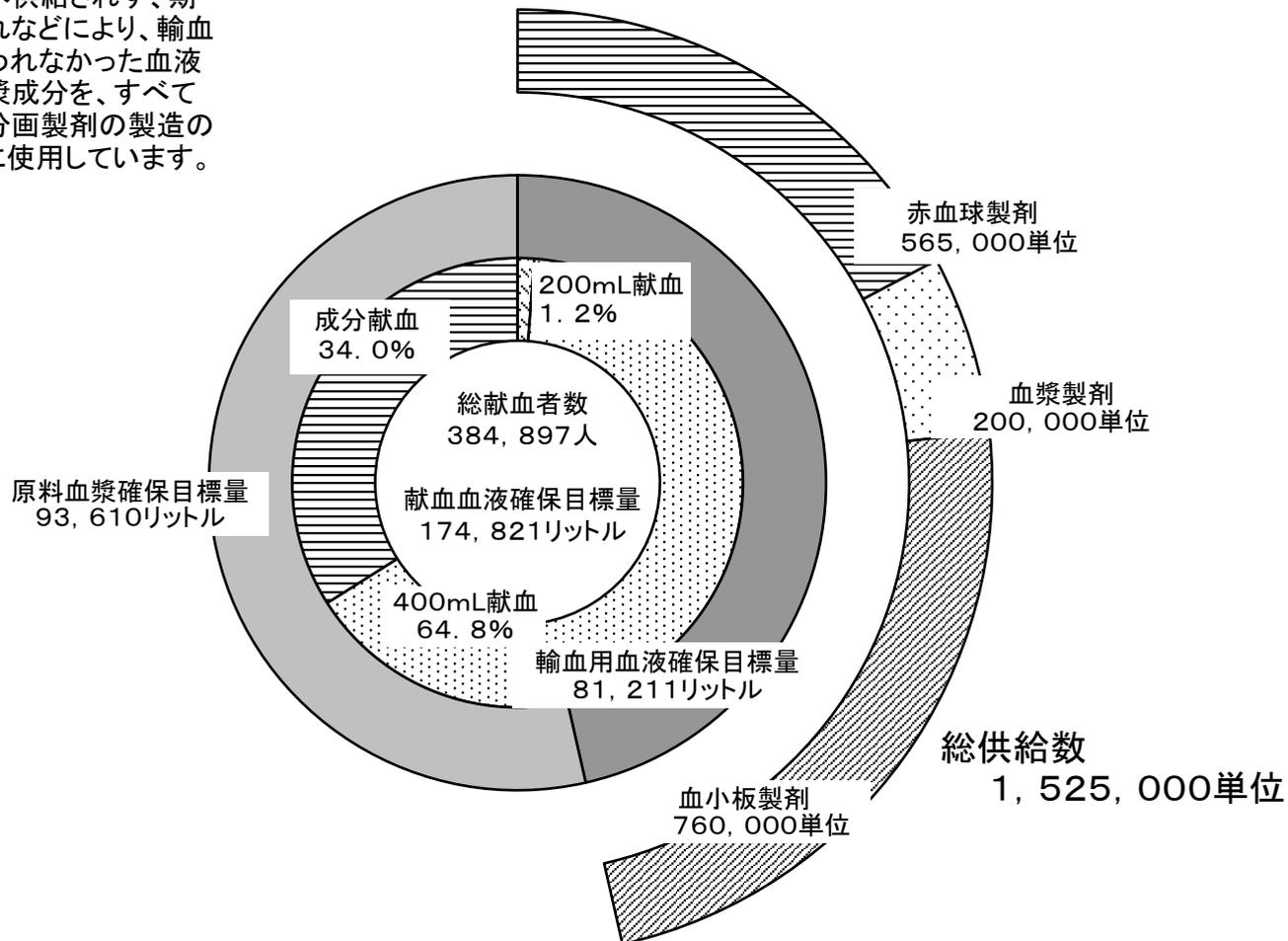
令和8年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で124万リットル(令和8年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、98.2%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オープン献血含む)	
全血献血	200mL	4,559	1.2%	912	113	1,966	2,480
	400mL	249,515	64.8%	99,806	8,850	137,040	103,625
成分献血	血漿	85,267	34.0%	49,239	4,704	80,563	0
	血小板	45,556					
合計	384,897		174,821	19,543	259,249	106,105	

令和 8 年度大阪府献血推進計画（案） 新旧対照表

令和 8 年度献血推進計画	令和 7 年度献血推進計画	変更理由																																																												
<p>第 1 目的及び基本理念（略）</p> <p>第 2 計画目標</p> <p>1. 献血者数、献血血液量</p> <p>国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。</p> <p>①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量</p> <table border="1" data-bbox="192 711 976 954"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全血献血</th> <th colspan="2">成分献血</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>200mL</th> <th>400mL</th> <th>血漿</th> <th>血小板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>献血者数（人）</td> <td>4,559</td> <td>249,515</td> <td>85,267</td> <td>45,556</td> <td>384,897</td> </tr> <tr> <td>献血血液確保目標量（L）</td> <td>912</td> <td>99,806</td> <td>49,239</td> <td>24,864</td> <td>174,821</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。</p> <p>②採血場所別献血者数</p> <table border="1" data-bbox="203 1102 965 1246"> <thead> <tr> <th>採血場所</th> <th>血液センター</th> <th>献血ルーム</th> <th>移動採血車（オープン献血含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>献血者数（人）</td> <td>19,543</td> <td>259,249</td> <td>106,105</td> </tr> </tbody> </table> <p>③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量</p> <p>原料血漿確保目標量： 93,610 L</p> <p>輸血用血液確保目標量：81,211 L（詳細は資料参照）</p>		全血献血		成分献血		合計	200mL	400mL	血漿	血小板	献血者数（人）	4,559	249,515	85,267	45,556	384,897	献血血液確保目標量（L）	912	99,806	49,239	24,864	174,821	採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）	献血者数（人）	19,543	259,249	106,105	<p>第 1 目的及び基本理念（略）</p> <p>第 2 計画目標</p> <p>1. 献血者数、献血血液量</p> <p>国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。</p> <p>①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量</p> <table border="1" data-bbox="1133 711 1917 954"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全血献血</th> <th colspan="2">成分献血</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>200mL</th> <th>400mL</th> <th>血漿</th> <th>血小板</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>献血者数（人）</td> <td>4,212</td> <td>252,824</td> <td>84,805</td> <td>46,483</td> <td>388,324</td> </tr> <tr> <td>献血血液確保目標量（L）</td> <td>842</td> <td>101,130</td> <td>48,386</td> <td>24,710</td> <td>175,069</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。</p> <p>②採血場所別献血者数</p> <table border="1" data-bbox="1144 1102 1906 1246"> <thead> <tr> <th>採血場所</th> <th>血液センター</th> <th>献血ルーム</th> <th>移動採血車（オープン献血含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>献血者数（人）</td> <td>19,816</td> <td>259,623</td> <td>108,885</td> </tr> </tbody> </table> <p>③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量</p> <p>原料血漿確保目標量： 97,282 L</p> <p>輸血用血液確保目標量：97,282 L（詳細は資料参照）</p>		全血献血		成分献血		合計	200mL	400mL	血漿	血小板	献血者数（人）	4,212	252,824	84,805	46,483	388,324	献血血液確保目標量（L）	842	101,130	48,386	24,710	175,069	採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）	献血者数（人）	19,816	259,623	108,885	<p>時点更新</p> <p>時点更新</p> <p>時点更新</p>
		全血献血		成分献血			合計																																																							
	200mL	400mL	血漿	血小板																																																										
献血者数（人）	4,559	249,515	85,267	45,556	384,897																																																									
献血血液確保目標量（L）	912	99,806	49,239	24,864	174,821																																																									
採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）																																																											
献血者数（人）	19,543	259,249	106,105																																																											
	全血献血		成分献血		合計																																																									
	200mL	400mL	血漿	血小板																																																										
献血者数（人）	4,212	252,824	84,805	46,483	388,324																																																									
献血血液確保目標量（L）	842	101,130	48,386	24,710	175,069																																																									
採血場所	血液センター	献血ルーム	移動採血車（オープン献血含む）																																																											
献血者数（人）	19,816	259,623	108,885																																																											

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数(人)	構成比 ^{※1※2}	献血率 ^{※3}
10代(16～19歳)	19,599	5.1%	6.3%
20代(20～29歳)	65,500	17.0%	6.5%
30代(30～39歳)	66,300	17.2%	6.7%
40代以上(40～69歳)	233,498	60.7%	6.7%
合計	384,897	100.0%	

※1：年代別目標献血者/目標献血者数合計

※2：表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合がある。

※3：年代別目標献血者/府における該当年齢別人口（令和6年）

(略)

第3 献血推進

1. 役割 (略)

2. 推進体制の整備 (略)

3. 方策

(略)

(1) 普及啓発

献血は府民の善意によるものであることから府民啓発は必要不可欠であるので、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、ボランティア等関係者の理解と協力を得て、ポスター、動画等の啓発資料の活用、各種イベントの実施、推進月間でのキャンペーンの実施、マスメディアによる継続的な広報、SNSを含むインターネットの活用等をす

2. 年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

	献血者数(人)	構成比 ^{※1※2}	献血率 ^{※3}
10代(16～19歳)	19,599	5.1%	6.3%
20代(20～29歳)	65,500	16.9%	6.5%
30代(30～39歳)	66,300	17.1%	6.7%
40代以上(40～69歳)	235,617	60.9%	6.8%
合計	387,016	100.0%	

※1：年代別目標献血者/目標献血者数合計

※2：表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合がある。

※3：年代別目標献血者/府における該当年齢別人口（令和6年）

(略)

第3 献血推進

1. 役割 (略)

2. 推進体制の整備 (略)

3. 方策

(略)

(1) 普及啓発

献血は府民の善意によるものであることから府民啓発は必要不可欠であるので、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、ボランティア等関係者の理解と協力を得て、各種イベントの実施、推進月間でのキャンペーンの実施、マスメディアによる継続的な広報、SNSを含むインターネットの活用、献血啓発作品の募集事業の活用（削除）等

時点更新

(追加)
・国作成のR8計画案に合わせた。
(削除)
・現状に合わせた。

とで、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発を実施する。

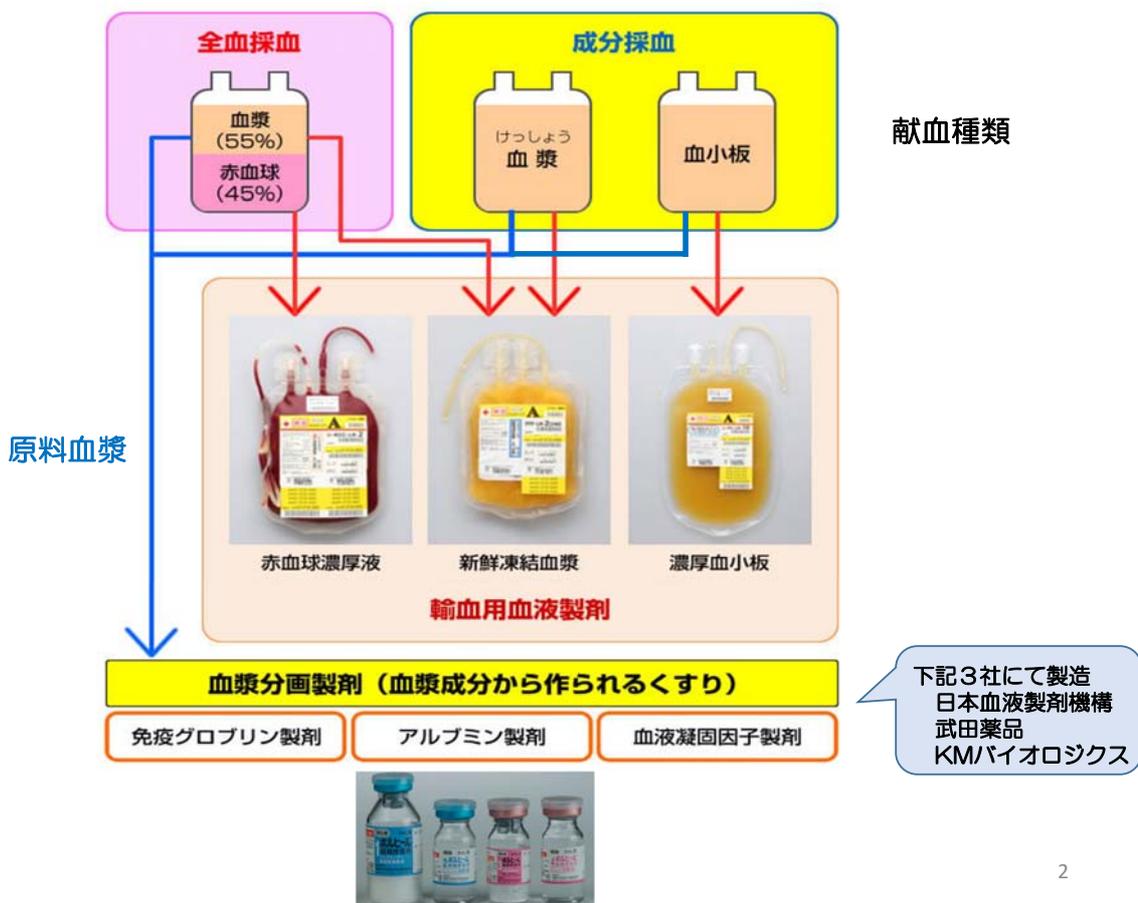
ることで、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発を実施する。

2026年1月

大阪府における血液事業の現況

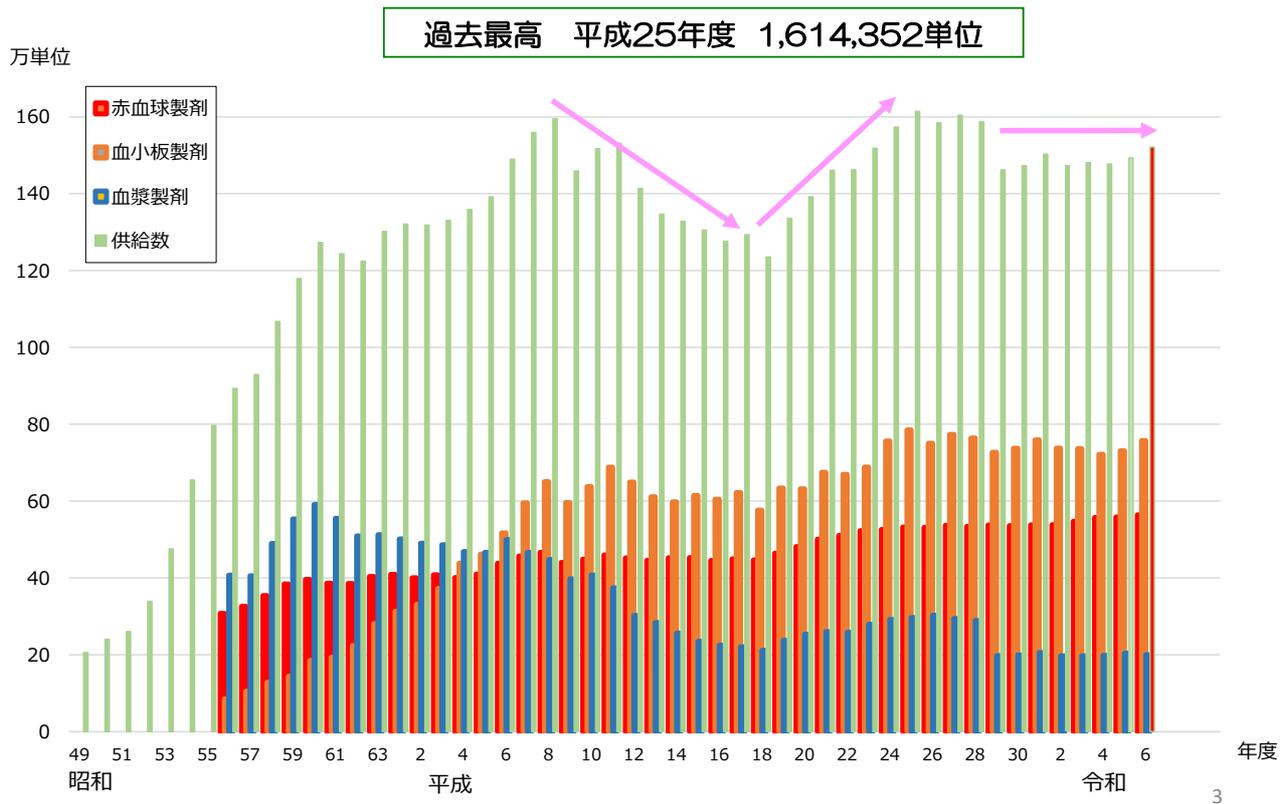
大阪府赤十字血液センター

1



2

輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、過去50年）



3

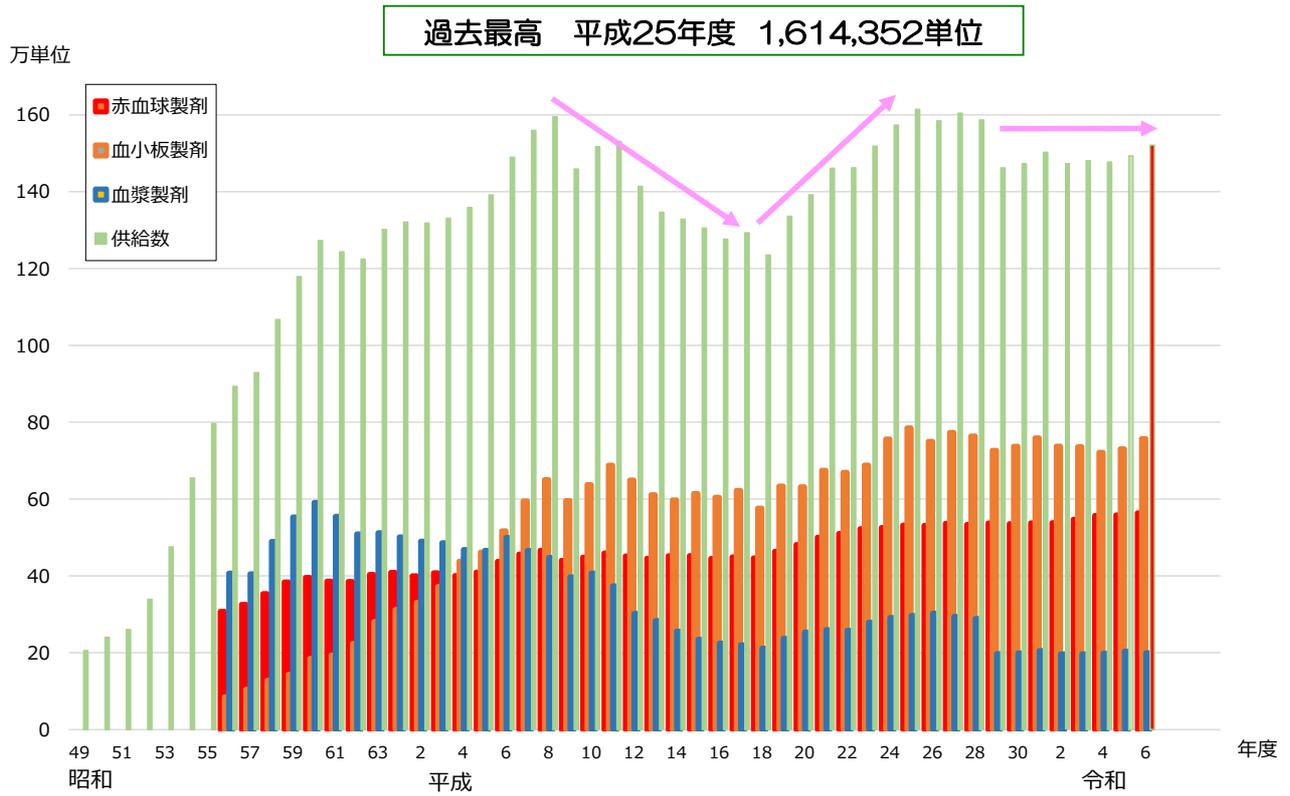
輸血数（量）を押し下げる要因

- 血液製剤適正使用の浸透
- Patient Blood Management の浸透
同種血輸血を可能な限り回避するためのプログラム
例：術前の貧血の改善、術中の自己血回収装置の使用
- 治療法の改善
- 術式の改善
- 手術ロボットの登場による出血量の減少

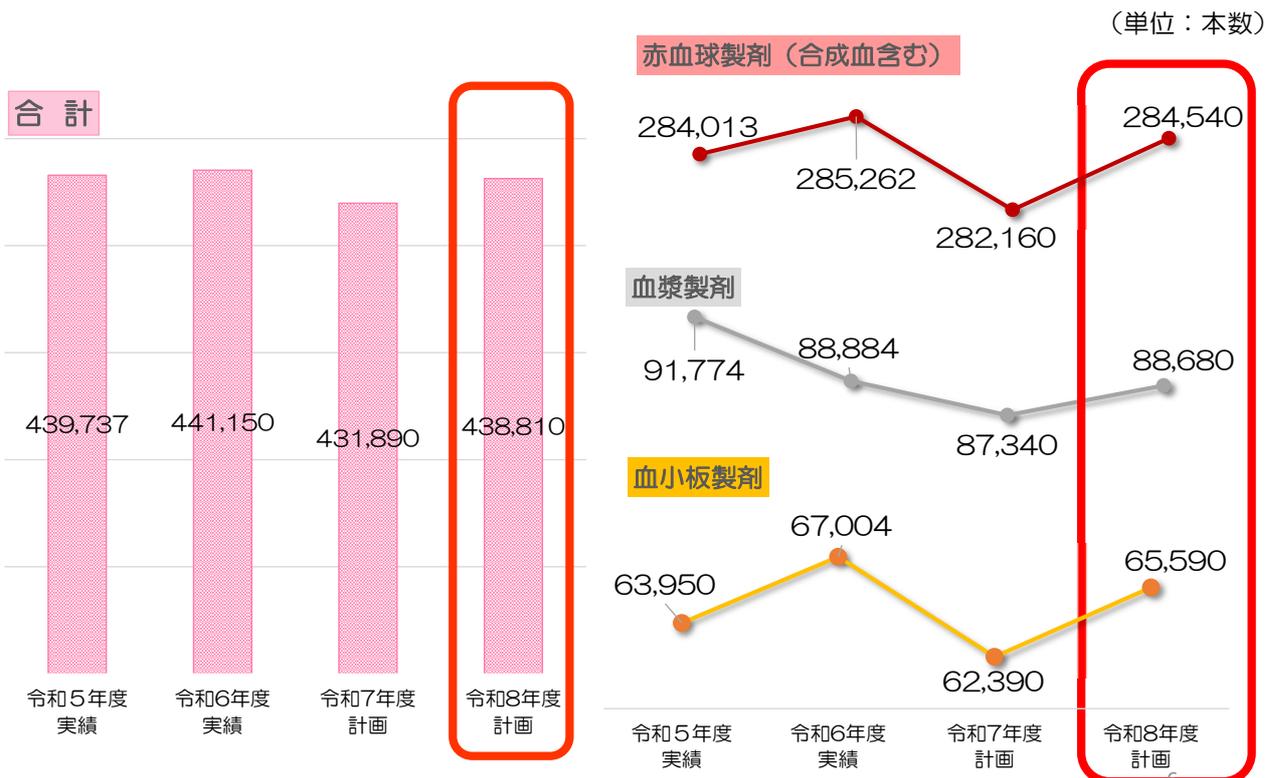
輸血数（量）を押し上げる要因

- 高齢者人口の増加（有病者の増加）
- 高齢者の体力増強（80, 90歳でも手術、積極的治療に耐える）

輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、過去50年）



輸血用血液製剤供給数推移（大阪府、直近4年）

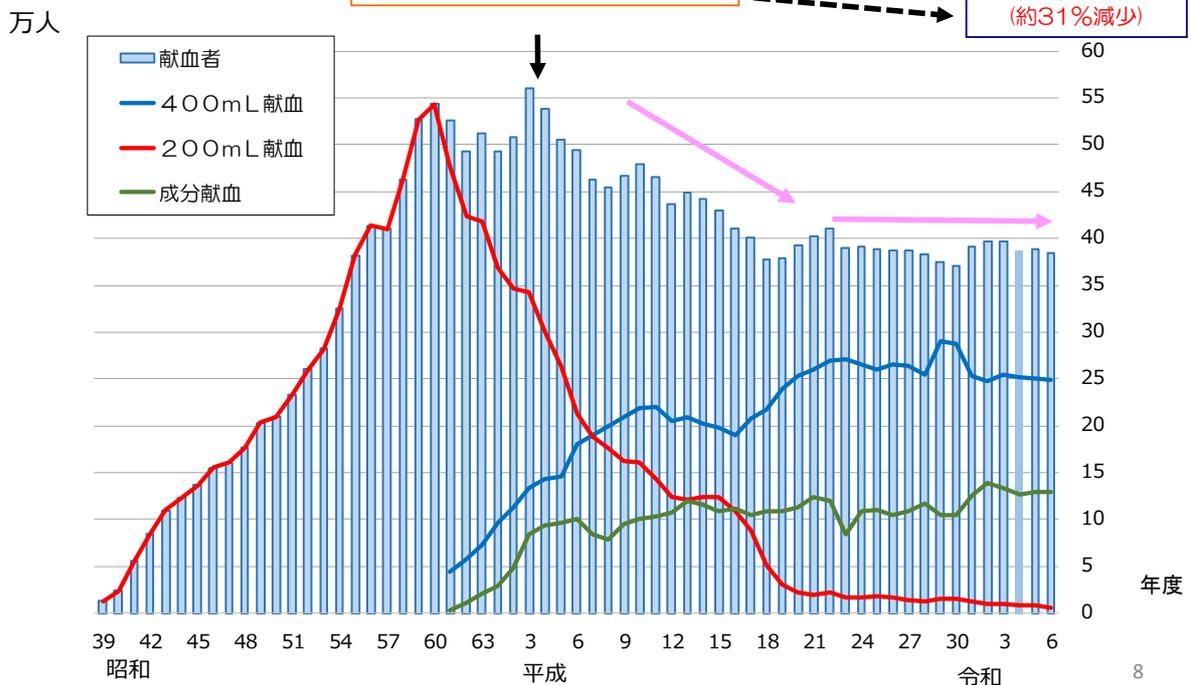


原料血漿送付量の推移



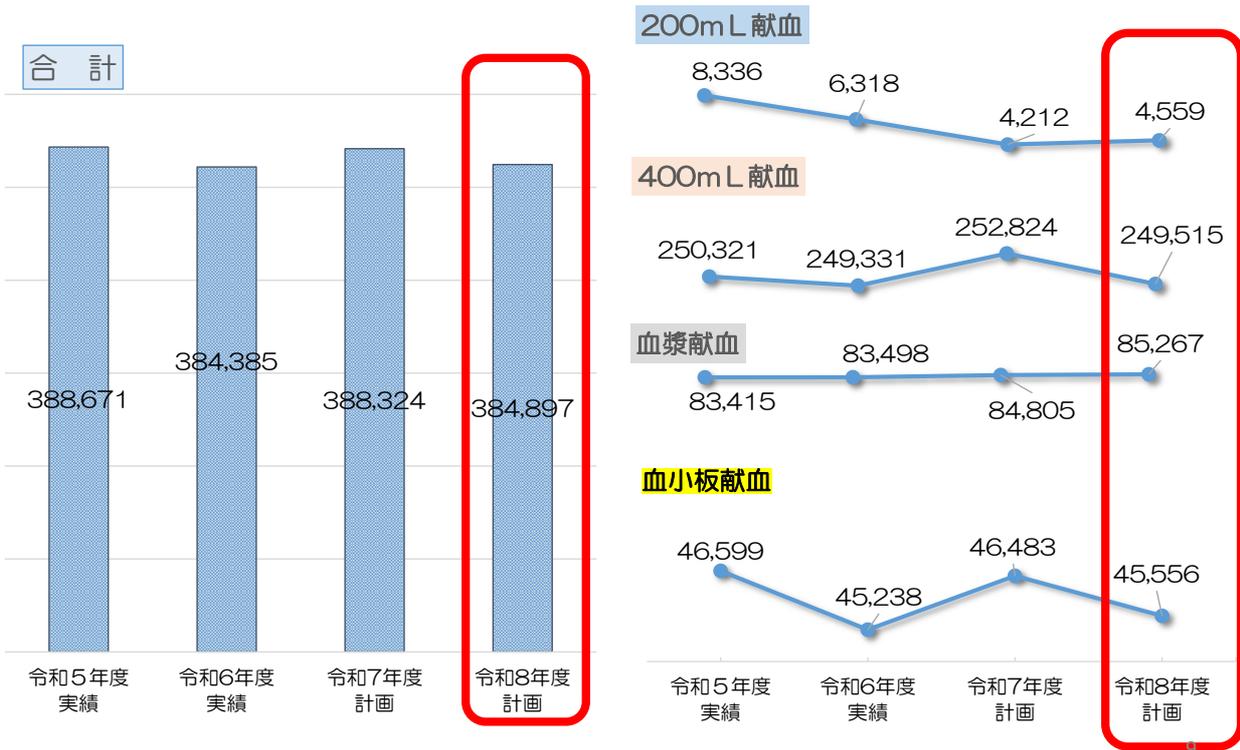
要因：グロブリン製剤の需要の増加

献血者数推移（大阪府、過去60年）



献血者数推移（大阪府、直近4年）

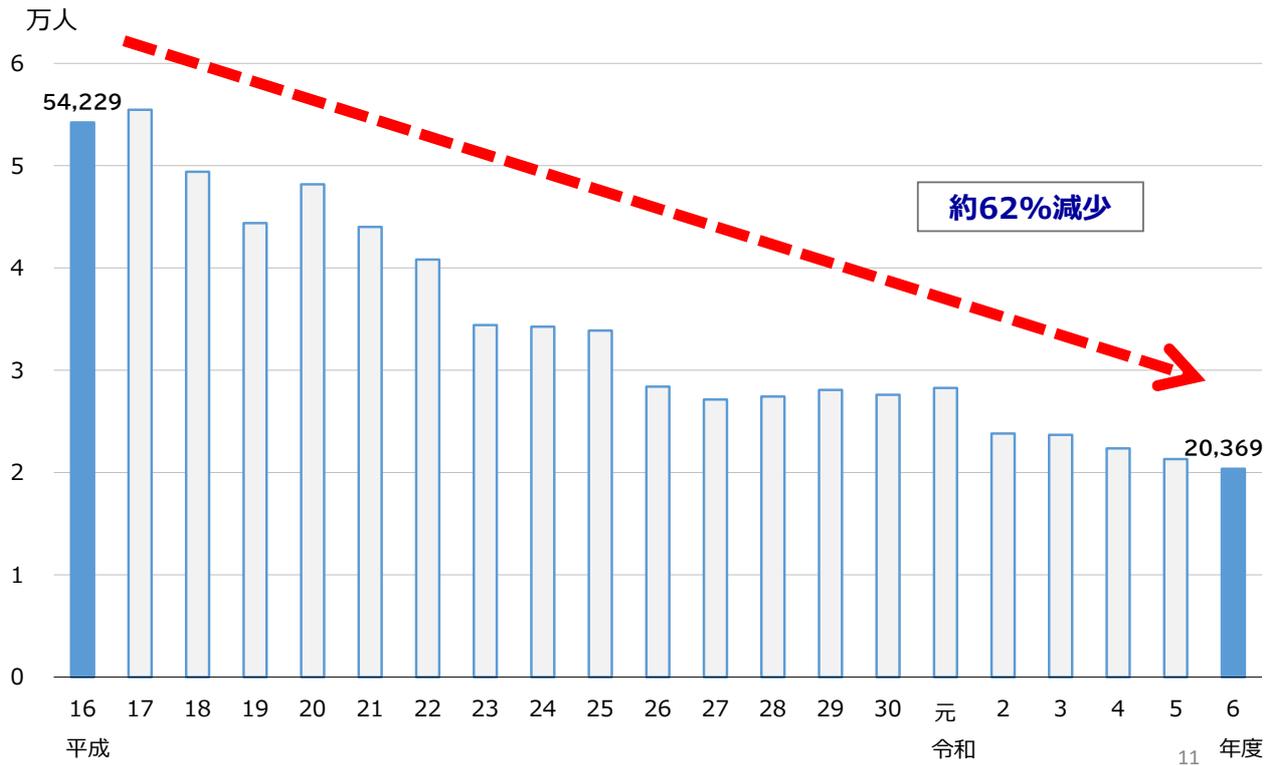
（単位：本）



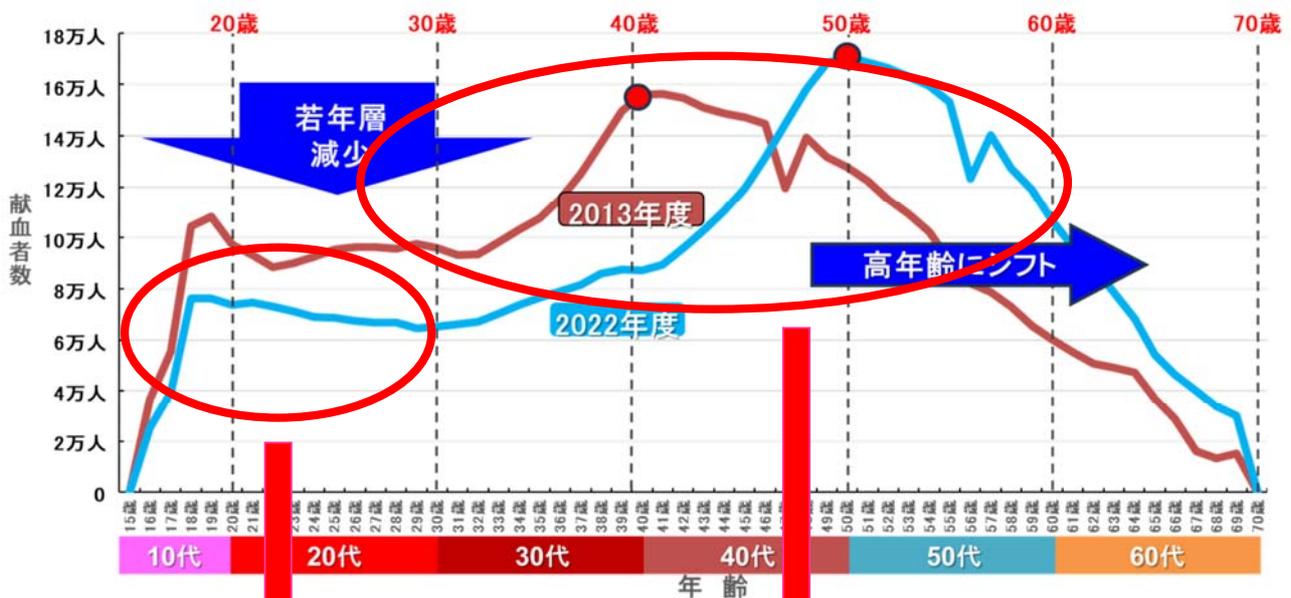
年齢別献血者数の推移（全国）



初回の献血者数（大阪府、直近20年）



年齢別献血者数の推移（全国）



対策1：若年者への対応

対策2：働き盛り、企業への対応

対策1：若年者への対応

13

献血おもしろゼミナール



第28回 献血
おもしろゼミナール
小学生対象 血液センター見学会
8月7日(木)・8日(金)
1st 2nd 午前の部 10:00~12:00
午後の部 14:00~16:00
7月10日(木)・11日(金) 電話予約受付期間
場所 大阪府赤十字血液センター 7階 研修室
対象 小学生 (主に3~6年生)
申し込み 電話にて要予約
7月10日(木) 7月11日(金)
定額 60円
内容
1. アンケートやクイズを通して、小学生のみなさんに興味をもってもらえるよう献血や血液の話をします。また、献血の仕組みや献血の意義についてもわかりやすくお話しします。
2. 血液センター内(採血室、採血室等)を実際に見学していきます。献血の仕組みや献血の意義について、血液センターのみなさんからお話を聞きます。
いっしょに 血液の勉強をしよう
お申し込み(予約)・お問い合わせは
大阪府赤十字血液センター
☎ 0120-504-686



14

高等学校献血セミナー

(セミナー実施例 コミュニケーションホール)

2025年12月現在
献血セミナー
63回実施



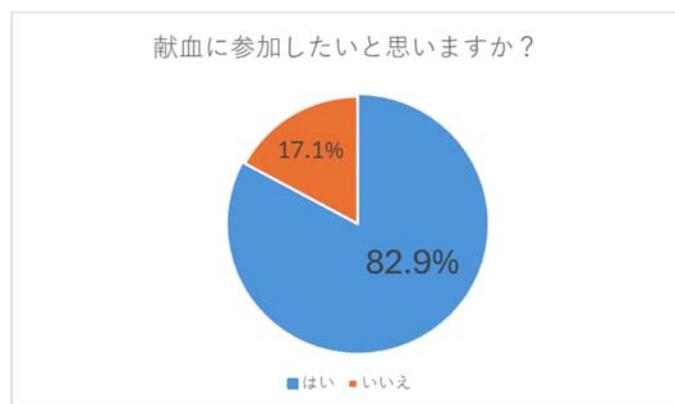
(セミナー実施例 体育館)



15

献血セミナー アンケート結果

約**83%**が献血
をしたいと思いますと回答



(感想抜粋)

- 少しでも人の役に立つなら是非献血したいと思った
- 血が足りないとは知らなかったので献血しようと思った
- 輸血のおかげで助かっている人がいるというのを、文字だけでなく映像で見たことにより実感が湧きました。献血をしようと思えた講習でした。ありがとうございました。
- 姉が幼少期に病気が原因で多くの輸血を受けたので、その恩返しができるように献血に行こうと思っています。
- なかなか献血の仕組みを知る機会はないのでとても貴重な時間となりました

16

施設見学会の開催 献血セミナーの実施 学校献血・課外活動の実施



献血セミナー



施設見学



献血啓発活動



血液センター公式SNSにて配信するショート動画の制作

献血応援隊（NMB48メンバー）を起用した、若年層への献血参加を目的とするSNS用ショート動画の制作



はたちの献血キャンペーン



19

対策2：働き盛り、特に企業への対応

20

シャレン！で献血

明治安田×Jリーグ×赤十字の活動である「シャレン！で献血」活動の一環として、セレッソ大阪ホームゲームにて献血を実施。JリーグOBとともに学生ボランティアも活動に参加した。



21

スポーツ団体による「いのちのパスプロジェクト」

2019年度 (R1)

【ガンバ大阪】



2020年度 (R2)

【大阪エヴェッサ】



2021年度 (R3)

【ガンバ大阪】 【レッドハリケーンズ大阪】



2022年度 (R4)

【大阪エヴェッサ】



2023年度 (R5)

【ガンバ大阪】



2024年度 (R6)

【大阪ブルテオン】



22

献血アンバサダーの活動①

『大阪府献血推進大使』 気象予報士・片平敦さん 令和4年6月20日 就任

就任後、献血ルームでの一日所長就任イベントや
献血キャンペーンPOPに起用などで献血普及のためご尽力いただく。
また、ご自身のSNSにて随時献血状況などを発信くださる。



令和6年1月9日
御堂筋献血ルーム一日所長に就任

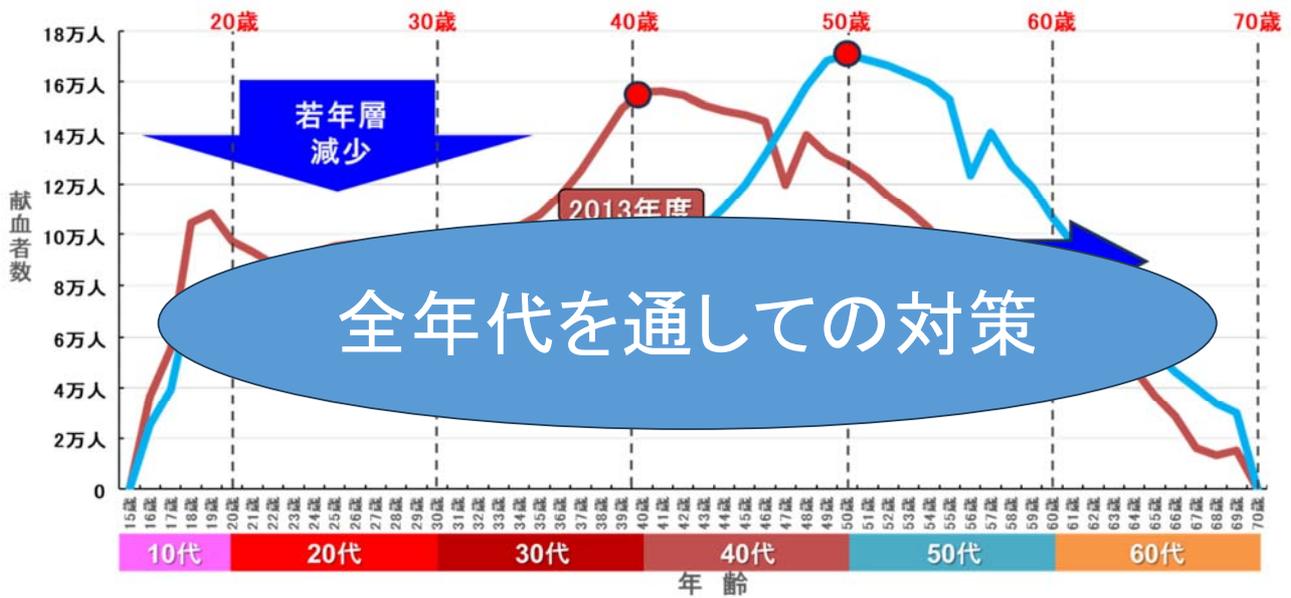
Xにて献血状況を配信

大阪・関西万博 Gallery westにて

大阪・関西万博にて令和7年10月6日・7日に献血バスを各日2台配車。
献血結果については2日間で受付506名・採血400mL献血431名。



年齢別献血者数の推移（全国）



25

対策3：献血回数が増加

26

複数回献血の推進

献血には2種類のご協力方法があります！

マルチ献血

全血献血 血液中のすべての成分を採血する献血

成分献血 血液中の血小板や血しょうだけを採血する献血

27

複数回献血の推進

マルチ献血 スケジュール例

男女とも2週間経てば可能

男性 12週間以上

女性 16週間以上

8週間以上

成分献血

全血 400 mL

例え 4月1日 [F+AST] 6月1日 6月15日 7月1日 7月15日 8月1日 9月1日 9月15日 10月1日 10月15日 11月1日

※成分献血にご協力いただくと、2週間、全ての献血にご協力いただけません。
献血カードに記載の400mL献血可能日に400mL献血にご協力いただくには、400mL献血可能日の2週間前までに成分献血にご協力願います。

待ち時間短縮のため
ラブラッドでの
予約をお願いします。

お得なキャンペーン情報は、
血液センターのHPや公式SNSを
ご確認ください。

「全血献血と成分献血」
2種類の献血によって助かるいのちがひろがります。

28

「ラブラッド」で利便性をアップ

ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、
事前の問診回答などが可能になりました。
献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、
接触機会の削減ができるので、安心して安全、より手軽に献血協力ができます。



29

献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能!当日予約(3時間前)^{*}もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。
※献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場でしかできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできるようになりました。



血液検査の確認

ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。



会員特典

ご協力いただいた献血種類に応じて、献血ポイントがたまります。また献血予約することで予約ポイントも付与されます。それらはオリジナル記念品と交換が可能です。その他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。



30

複数回献血者の増加(大阪府、直近20年)



31

献血カードの発行・更新は
令和8年1月4日(日)
で終了しました。

令和8年1月5日(月)から
全国の献血会場において、
ラブラッドアプリによる献血の
受付方法に統一いたします。

献血は
ラブラッドアプリを
ご利用ください

アプリやカードをお持ちでなくても献血の受付は可能ですが、
次回以降、アプリによる献血のご予約・受付にご協力いただけますと幸いです。

献血カード・献血手帳の発行・更新は、令和8年1月4日[日]で終了します。

＼ご存知ですか？
献血Web会員サービス「ラブラッド」

- アプリで予約・受付
- 事前の問診回答
- 血液検査結果の確認
- ポイントが貯まる

ダウンロードはコチラから！

iPhoneの方
App Store

Androidの方
Google Play

32

献血推進に係る大阪府の取組み

令和 6 年度大阪府献血推進計画目標の達成状況について	1
令和 7 年度献血目標（抜粋）	2
令和 7 年度献血推進に係る大阪府取組み	3
各市町村献血推進協議会 広報実施状況	4
各種広報活動	6
若年層の献血推進	7
令和 7 年度献血啓発作品ポスター原画募集 優秀作品	10
高校生街頭献血キャンペーン	15
献血セミナー	16

令和6年度大阪府献血推進計画目標の達成状況について

1. 献血者数の確保 目標値

①献血者数

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
目標値(人)	5,386	251,700	82,220	47,710	387,016
実績値(人)	6,318	249,331	83,498	45,238	384,385
達成率(%)	117.3	99.1	101.6	94.8	99.3

②献血血液確保量

	全血献血		成分献血		合計
	200mL	400mL	血漿	血小板	
目標値(L)	1,077	100,680	46,715	25,988	174,460
実績値(L)	1,264	99,732	46,128	25,860	172,984
達成率(%)	117.4	99.1	98.7	99.5	99.2

③採血場所別献血者数

	血液センター	献血ルーム	移動採血者 (オープン献血含む)	合計
目標値(人)	19,846	256,847	110,323	387,016
実績値(人)	19,582	256,379	108,424	384,385
達成率(%)	98.7	99.8	98.3	99.3

2. 若年層対策 目標値

①年代別献血者数

	10代	20代	30代	40代以上	合計
目標値(人)	19,599	65,500	66,300	235,617	387,016
実績値(人)	11,788	55,914	54,583	262,100	384,385
達成率(%)	60.1	85.4	82.3	111.2	99.3

②献血セミナー(高校生)

目標回数	35	実施回数	61
------	----	------	----

取組事例

- ・献血セミナー
- ・献血おもしろゼミナール
- ・献血啓発作品ポスター原画募集事業
- ・雑誌、デジタルサイネージ、SNS等各種媒体による広報活動

目標達成状況の概要

- ・令和6年度の大阪府における献血者数は合計384,385人であり、目標値達成率99.3%であった。
- ・目標を下回ったのは、冬季のインフルエンザ等の感染症の流行が主な原因であると考えられる。
- ・また、10代から30代の若年層献血者数については、依然として目標値と比較すると低い状況であるため、引き続き、若年層対策に積極的に取り組む必要がある。

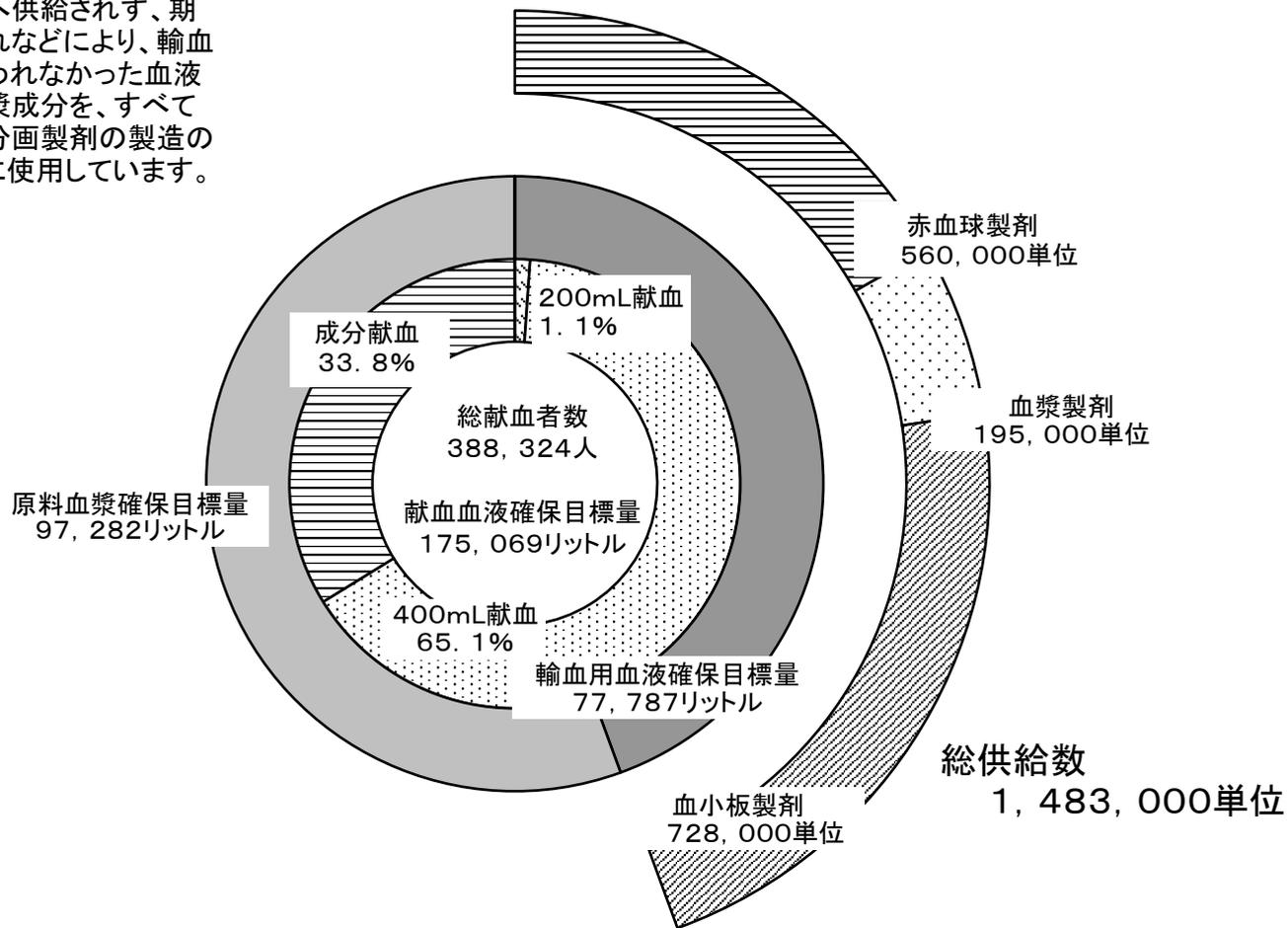
令和7年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で124万リットル(令和7年度)です。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。

*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、98.4%(全血献血中構成比)としました。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オープン献血含む)	
全血献血	200mL	4,212	1.1%	842	101	1,752	2,359
	400mL	252,824	65.1%	101,130	9,114	137,184	106,526
成分献血	血漿	84,805	33.8%	48,386	4,732	80,073	0
	血小板	46,483		24,710	5,869	40,614	0
合計	388,324		175,069	19,816	259,623	108,885	

令和7年度 献血推進に係る大阪府の取組み

1. 会議の開催

- 市町村献血推進担当者会議（令和7年6月18日 大阪府赤十字会館）
- 大阪府献血推進審議会（令和8年1月29日 KKRホテル大阪）

2. 献血推進功労者等の顕彰 ・伝達式と贈呈式は同時開催。

- 厚生労働大臣表彰状・感謝状 伝達式（令和7年10月9日 大阪府庁）
- 大阪府知事感謝状 贈呈式（令和7年10月9日 大阪府庁）

3. 献血推進月間・キャンペーン

- 愛の血液助け合い運動（7月）
- 大阪府献血推進月間（12月）
- はたちの献血キャンペーン（1月～2月）

4. 各種広報活動

- 大阪府HP、もずやんX（旧Twitter）等への記事掲載
- デジタルサイネージ広告
 - ・大阪モノレール各駅、大阪信用金庫、日本生命保険
- 若年層向け動画放映
 - ・立命館大学での放映、動画配信サイトYouTubeでの公開
- イベント
 - ・FC大阪ホームグラウンドイベント（令和7年6月30日 花園ラグビー場）、
 - ・鉄道まつり（令和7年11月29～30日 万博記念公園）
- 各団体発行の広報誌への記事掲載
 - ・一般社団法人 大阪府病院協会（1月）
 - ・一般社団法人 大阪府医師会（2月）
 - ・一般社団法人 大阪府私立病院協会（2月）

5. 若年層の献血推進

- 献血作品募集事業
 - ・府内の15～28歳を対象として、献血推進についてのポスター原画を募集。
 - ・ポスター原画を用いた啓発資材を作成し、府内高校へ配布する予定。
- 高校生による街頭キャンペーン（12月）
- 学生との連携
 - ・大阪府学生献血推進協議会と協同でコラボグッズの作成。（現在作成中）

令和6年度 7月 市町村献血推進協議会 街頭広報実施状況 (「愛の血液助け合い運動」月間)					令和6年度 7月 市町村献血推進協議会 機関紙等広報掲載実施状況 (「愛の血液助け合い運動」月間)					
推進協議会名	実施日	実施場所	参加人数	配布物品	機関紙等名称	発行者名	掲載日	機関紙等名称	発行者名	掲載日
1 大阪市	7月中	各区役所、福祉センター	0人(窓口設置のため)	ポケットティッシュ計約2000個	広報あべの6月号	大阪市阿倍野区役所	6月1日			
	7月中	住吉区役所区民情報コーナー	-	ポスター掲示						
2 堺市	7月10日	中区役所周辺 深井駅周辺	校区団長:9名 血液センター職員:2名 堺市社会福祉協議会:1名 中保健センター:1名 中区役所事務局:4名	ウェットティッシュ360個	広報さかい	堺市	7月			
3 岸和田市	7月17日	南海岸和田駅前	5人	ティッシュ	きしわだ社協だより	岸和田市	7月1日	広報きしわだ	岸和田市	7月1日
4 豊中市	7月27日	阪急曽根駅前	8人	クリアファイル ボールペン	広報とよなか	豊中市	7月号			
5 池田市	7月12日	池田市役所	4人	ティッシュ100個 粗品 70個	献血ポスター ホームページ Facebook	池田市社会福祉協議会	6月	広報いけだ	池田市	7月
6 吹田市		吹田市内各地域及び吹田市役所庁舎内掲示板にてポスターを掲載			市報すいた	吹田市広報課	7月号			
7 泉大津市	7月1日	泉大津駅周辺	27人	ティッシュ1,500個	実施なし					
8 高槻市	7月4日	エミル高槻(阪急高槻市駅)	23人(うち事務局2人)	ティッシュ約2,500(献血実施者にボールペン、バッグインバッグ)	社協ホームページ 社協ライン	高槻市社会福祉協議会	7月			
9 貝塚市	実施なし				実施なし					
10 守口市	7月4日	守口市役所	39人	ティッシュ200個 クリップファン200個 ひんやりタオル200個	広報もりぐち7月号	守口市	7月	守口市ホームページ	守口市	7月
11 枚方市	7月2日	京阪枚方市駅献血ルーム前	31人	ティッシュ2,500個	枚方市社会福祉協議会 ホームページ	枚方市社会福祉協議会	1月6日			
12 茨木市	7月28日	茨木市役所南館前	15人	ティッシュ ボールペン	広報いばらき 7月号	茨木市	7月			
13 八尾市	7月6日	ブリズムホール→近鉄八尾駅噴水前	60人	ティッシュ	市政だより	八尾市	7月	ホームページ	八尾市献血推協	7月
14 泉佐野市	7月3日	南海泉佐野駅前	12人	ティッシュ ウェットティッシュ	広報 いずみさの	泉佐野市	7月号・8月号			
15 富田林市	7月7日	エコー・ロゼ	35人	啓発用ティッシュ2,000個、冷やし中華(採血者粗品)66個	とんだばやしメール 社協とんだばやし 社協ホームページ 社協Facebook 富田林市公式LINE	市・社協	7月			
16 寝屋川市	実施なし				「虹」	寝屋川市社会福祉協議会	8月1日号			
17 河内長野市	7月9日	河内長野市役所	55人	ティッシュ150個	広報 かわちながの	河内長野市	7月			
18 松原市	6月24日	松原市役所	約30人	献血チラシ入りティッシュ150個	実施なし					
19 大東市	7月5日	オペラパーク	17人	ティッシュ250個	広報「だいとう」	大東市	7月			
20 和泉市	7月14日 8月4日	北部リージョンセンター 人権文化センター	118人 203人	ハンドタオル、ボールペン ハンドタオル	啓発ポスターを市役所 庁舎デジタルサイネージ 掲載		7月1日から 7月31日			
21 箕面市	7月20日	阪急箕面駅前	27人	ティッシュ1,000個	もみじだより	箕面市	7月			
22 柏原市	7月5日	JR柏原駅前・近鉄河内国分駅前	22人	ひんやりマフラータオル720枚 ティッシュ2,000個	広報かしわら	柏原市	7月号			
23 羽曳野市	7月23日	羽曳野市役所及び別館	4人	ティッシュ250個 絆創膏250個	広報はびきの	羽曳野市	7月			
24 門真市	7月19日	京阪古川橋駅前広場	30人	ティッシュ	広報かどま	門真市	7月号			
25 摂津市	7月6日 7月1日～31日	・摂津市コミュニティプラザ ・社会福祉協議会窓口		・ティッシュ500個 ・ティッシュ1000個	せつつ社協ニュース	摂津市社会福祉協議会	6月			
26 高石市	7月12日	高石市市役所	2人	献血チラシ、ティッシュ	広報たかいし	高石市地域創生課	7月			
27 藤井寺市	7月30日	イオン藤井寺ショッピングセンター	20人	ティッシュ1,000	広報ふじいでら	藤井寺市	7月			
28 東大阪市	7月19日他1回	東大阪役所総合庁舎	計5名程度	タンブラー・ごみ袋	東大阪市政だより	東大阪市	7月			
29 泉南市	7月9日・20日・21日・30日	イオンモールりんくう泉南	25人・41人・56人・26人	サララップ・洗剤	泉南市HP	泉南市長	7月	広報せんなん	泉南市長	7月号
30 四條畷市	6月30日	イオンモール四條畷	3人	オリジナル粗品・啓発ティッシュ・チラシ	四條畷LIFE	四條畷市	4月号	社協だより	四條畷市社会福祉協議会No.104	4月
31 交野市	実施なし				広報かたの	交野市	7月号			
32 大阪狭山市	7月27日	エバーグリーン狭山店	2人	ティッシュ	記事スペースの調整がつかず未掲載					
33 阪南市	7月23日 9時30分～11時 00分まで	・泉鳥取高校 ・市内公民館3箇所 (尾崎・西鳥取・東鳥取) ・阪南市立図書館	・2人 ・2人 ・2人	・爽快シート93個&啓発用ティッシュ500個、大阪府のチラシ20枚 ・啓発用ティッシュ500個 ・啓発用ティッシュ500個	・阪南市の広報「はんなん」 ・阪南市ホームページ ・阪南市フェイスブック	阪南市健康増進課	・7月号 ・7月1日～31日 ・7月1日～31日	・阪南市ツイッター ・阪南市職員内掲示板 ・愛の血液助け合い運動ポスター掲示	・阪南市健康増進課 ・阪南市健康増進課 ・厚生労働省作成	7月1日～7月31日
34 島本町	7月12日 18時～18時30分	阪急水無瀬駅前	12人	ポケットティッシュとボールペンのセット300個	広報しまもと7月号	島本町	7月1日			
35 豊能町	7月1日	保健福祉センター前	1人	ティッシュ	広報紙「こんにちは!とよの社協です。」	豊能町社会福祉協議会	7月			
36 能勢町	7月22日	能勢町役場周辺	12人	ティッシュ等	実施なし					
37 忠岡町	実施なし				実施なし					
38 熊取町	7月1日	JR熊取駅周辺	12人	ティッシュ	広報くまとり7月号	熊取町	7月	熊取町ホームページ	熊取町	7月1日
39 田尻町	5月20日	ふれ愛センター	50人	ティッシュ50個	実施なし					
40 岬町	7月中	岬町立保健センター、深日会館、深日農協、望海坂第一集会所、淡輪老人福祉センター	2人	ティッシュ310個	実施なし					
41 太子町	7月19日	カインズ太子店	7人	献血ティッシュ	広報たいし	太子町役場	9月広報			
42 河南町	8月21日	河南町役場	4人	チラシ入りティッシュ	広報かなん	河南町	8月			
43 千早赤阪村	7月10日 10時～16時	村内全域(行政無線による啓発放送を実施)(広報車による音声案内とチラシにて啓発巡回を実施)(役場内で呼びかけ)	9人	ポケットティッシュ 200個	村広報「ちはやあかさか」	千早赤阪村	7月1日			

令和6年度 12月 市町村献血推進協議会街頭広報実施状況 (大阪府献血推進月間)				
推進協議会名	実施日	実施場所	参加人数	配布物品
1 大阪市	各地区でキャンペーン等を実施			
2 堺市	12月4日 12月12日 12月13日 12月19日 12月20日	東区役所 イオンモール堺北花田南側玄関付近 西区役所 榎・美木多駅前 ピハモール三原南インター店・美原区役所	21名 9名 10名 31名 14名	ティッシュ、ウェットティッシュ各300個 ウェットティッシュ400個 ウェットティッシュ400個 ウェットティッシュ465個 日赤ティッシュ・チラシ500個
3 岸和田市	12月19日	そよら東岸和田駅	5人	ティッシュ
4 豊中市	12月19日	豊中市役所第二庁舎	10人	クリアファイル・ボールペン・耐熱マグカップ
5 池田市	12月6日 12月1日 12月29日	池田市役所 ダイエー池田駅前店 池田駅前てらてる広場	4人 30人 10人	ティッシュ100個、粗品70個 ティッシュ500個
6 吹田市	11月17日	建都イノベーションパークニプロ(株)社屋内	1,308人	オリジナルハンドタオル(すいたん×けんけつちゃん)、ティッシュ
7 泉大津市	12月2日	泉大津駅周辺	21人	ティッシュ1,500個
8 高槻市	12月5日	エミル高槻(阪急高槻市駅)	27人(うち事務局2人)	ティッシュ約2,000(献血実施者にボールペン、バッグインバッグ)
9 貝塚市	実施なし			
10 守口市	12月3日	守口市役所	30人	ティッシュ200個、FMラジオ200個
11 枚方市	12月3日	京阪枚方市駅献血ルーム前	33人	ティッシュ2,500個
12 茨木市	12月8日	アル・プラザ茨木	40人	ティッシュ
13 八尾市	12月7日	ブリズムホール→近鉄八尾駅噴水前	60人	ティッシュ
14 泉佐野市	11月28日	南海泉佐野駅前	8人	ティッシュ ウェットティッシュ
15 富田林市	12月8日	エコー・ロゼ	31人	啓発用ティッシュ2,000個、プチッと鍋(採血者粗品)73個
16 寝屋川市	実施なし			
17 河内長野市	12月10日	河内長野市役所	38人	ティッシュ150個
18 松原市	12月29日	河内天美駅	60人	献血チラシ入りティッシュ150個
19 大東市	12月8日	オペラパーク	15人	ティッシュ250個
20 和泉市	実施なし			
21 箕面市	12月18日	箕面市役所	16人	ティッシュ約1,000個
22 柏原市	12月3日	JR柏原駅前、近鉄河内国分駅前	27人	入浴剤600個 ティッシュ2,000個
23 羽曳野市	12月5日・6日	四天王寺大学	4人	ティッシュ500 絆創膏500個
24 門真市	12月11日	ららぽーと門真	34人	ティッシュ
25 摂津市	・12月11日 12月1日～1月31日	・摂津市役所 ・社会福祉協議会窓口	3人	・なし ・1,500個
26 高石市	12月6日	高石市役所	4人	啓発チラシ・ティッシュ・啓発物(トートバッグ)
27 藤井寺市	12月24日	イオン藤井寺ショッピングセンター	19人	ティッシュ1,500
28 東大阪市	12月8日他1回	額田グラウンド	計5名程度	卓上加湿器、ごみ袋
29 泉南市	12月20日・24日	イオンモールりんくう泉南	44人・31人	防災備蓄ボトル
30 四條畷市	12月1日・12月14日	イオンモール四條畷	4人・7人	オリジナル粗品・啓発ティッシュ・チラシ
31 交野市	実施なし			
32 大阪狭山市	1月19日	エバグリーン狭山店	2人	ブランケット、タオル、ティッシュ等
33 阪南市	12月20日	阪南市内3公民館 府立泉鳥取高校	2人	ティッシュ等
34 島本町	12月5日	阪急水無瀬駅前	12人	ポケットティッシュとボールペンセット300個
35 豊能町	12月2日	保健福祉センター前	1人	ティッシュ
36 能勢町	実施なし			
37 忠岡町	実施なし			
38 熊取町	12月1日	かむかむプラザ・キターネホール周辺	14人	ティッシュ
39 田尻町	12月17日	ふれ愛センター	50人	ティッシュ50個
40 岬町	12月中	岬町立保健センター 乳幼児健診 集団健診時	2人	ティッシュ100個
41 太子町	12月23日	カインズ太子店	7人	献血ティッシュ
42 河南町	12月20日	河南町役場	5人	チラシ入りティッシュ
43 千早赤阪村	実施なし			

各種広報活動

大阪府公式X（旧 Twitter）や、動画の作成、デジタルサイネージによる放映を通じ、献血啓発を実施している。

大阪府公式X

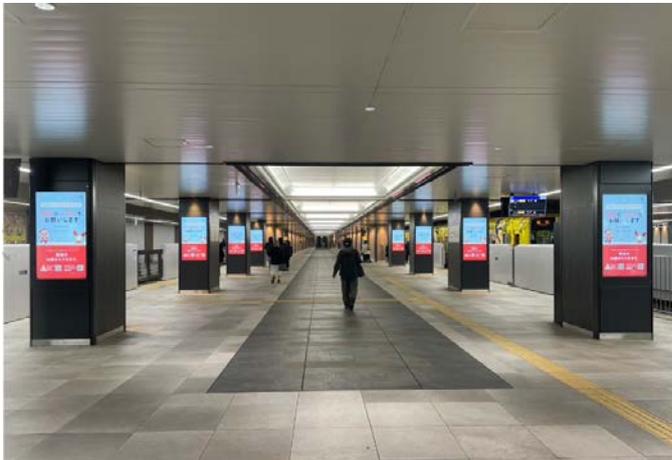


啓発動画「ちょっと献血、してみませんか？」

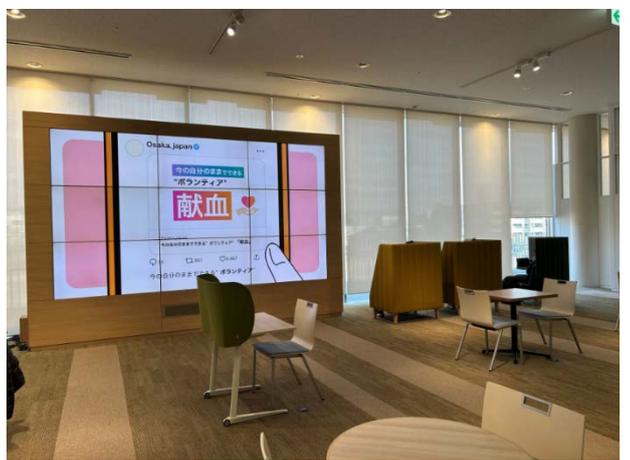


デジタルサイネージ

阪神大阪梅田駅



立命館大学



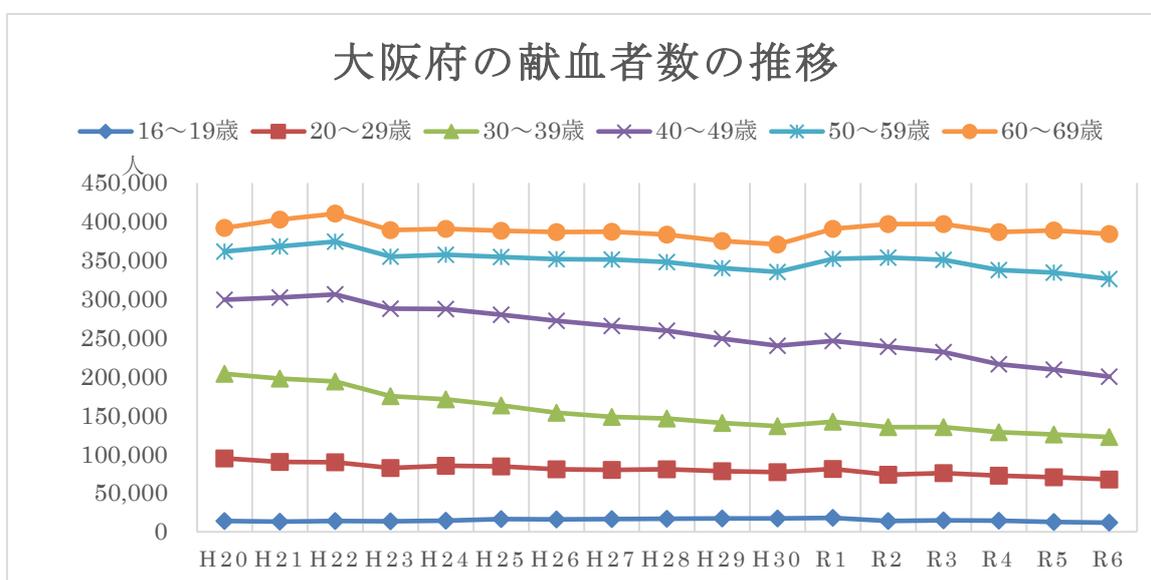
若年層の献血推進

(現状)

令和6年度、若年層である10代から30代の献血者数は、全国で約158万人であり、平成20年度の約285万人から大きく減少している。大阪府内においても同様の傾向となっており、令和6年度は約12.2万人となり、平成20年度の約20万人の61%となっている。

厚生労働省は、平成29年度より、総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、都道府県毎に、年代別の献血者数の目標を設定する通知を発出している(次ページ)。

将来の献血基盤の確保という観点からは、若年層の献血推進が非常に重要であることから、大阪府では、安定した献血者を確保するために、若年層向けの啓発が重要と考えている。



年代別の献血者数について

若年層の年代別献血者数(括弧内は4~12月の9か月間)

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	年間目標
	献血者数	献血率	献血者数	献血率	献血者数	献血者数
16~19歳	12,727 (9,831)	4.1%	11,788 (9,044)	3.8%	— (9,109)	19,599
20~29歳	57,770 (43,522)	5.8%	55,914 (42,382)	5.6%	— (41,456)	65,500
30~39歳	55,300 (40,999)	5.6%	54,583 (40,820)	5.5%	— (41,139)	66,300

・献血率…年代別献血者数 / 府における該当年齢別人口

事務連絡
令和7年3月25日

各都道府県衛生主管部（局）薬務主管課 御中

厚生労働省医薬局血液対策課

令和7年度の目標献血者数（都道府県・年代別）について

血液事業の推進につきましては、日頃より格別の御配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

「令和7年度に献血により受け入れる血液の目標量について（依頼）」（令和6年11月7日付け事務連絡）により、都道府県赤十字血液センターと協議していただいた翌年度の目標献血者数（都道府県・年代別）につきまして、別添のとおり取りまとめ版を送付いたします。

目標献血者数の達成に向けて、特に若年層を対象とした献血の普及啓発に御協力のほどよろしくお願いいたします。

【連絡先】

厚生労働省医薬局

血液対策課献血推進係

電話：03-5253-1111（内線 2908）

03-3595-2395（直通）

令和7年度の目標献血者数(都道府県・年代別)

年代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		総献血者数	10~30代構成比
	16歳~19歳	構成比	20~29歳	構成比	30~39歳	構成比	40~49歳	構成比	50~59歳	構成比	60~69歳	構成比		
都道府県	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比	目標数	構成比		
北海道	12,800	5.4%	37,400	15.7%	40,000	16.8%	57,330	24.1%	59,000	24.8%	31,765	13.3%	238,295	37.9%
北海道ブロック	12,800	5.4%	37,400	15.7%	40,000	16.8%	57,330	24.1%	59,000	24.8%	31,765	13.3%	238,295	37.9%
青森県	2,246	5.0%	7,408	16.4%	8,561	18.9%	11,225	24.8%	10,801	23.9%	5,013	11.1%	45,254	40.3%
岩手県	2,229	5.1%	7,465	17.2%	8,561	19.7%	10,984	25.3%	9,218	21.2%	5,008	11.5%	43,465	42.0%
宮城県	4,524	5.0%	17,892	19.9%	19,103	21.2%	23,091	25.7%	17,533	19.5%	7,803	8.7%	89,946	46.2%
秋田県	1,627	4.6%	5,071	14.3%	6,069	17.1%	8,419	23.8%	9,432	26.6%	4,816	13.6%	35,434	36.0%
山形県	2,034	5.2%	6,610	17.0%	7,539	19.4%	9,541	24.5%	8,889	22.8%	4,319	11.1%	38,932	41.6%
福島県	3,612	5.1%	12,536	17.6%	14,056	19.8%	16,917	23.8%	15,665	22.0%	8,325	11.7%	71,111	42.5%
東北ブロック	16,272	5.0%	56,982	17.6%	63,889	19.7%	80,177	24.7%	71,538	22.1%	35,284	10.9%	324,142	42.3%
茨城県	6,754	6.4%	14,560	13.8%	17,551	16.6%	24,713	23.4%	28,685	27.2%	13,308	12.6%	105,571	36.8%
栃木県	9,104	10.1%	13,864	15.4%	17,168	19.0%	20,239	22.4%	21,180	23.5%	8,746	9.7%	90,301	44.4%
群馬県	6,293	7.2%	12,356	14.0%	15,188	17.3%	20,792	23.6%	23,900	27.2%	9,481	10.8%	88,010	38.4%
埼玉県	12,424	5.0%	35,192	14.1%	40,511	16.2%	60,809	24.3%	72,404	29.0%	28,639	11.5%	249,979	35.3%
千葉県	11,694	4.9%	38,123	16.1%	40,476	17.1%	55,176	23.3%	65,522	27.6%	26,312	11.1%	237,303	38.0%
東京都	27,567	4.5%	121,163	19.7%	117,356	19.1%	137,434	22.3%	155,506	25.3%	56,149	9.1%	615,175	43.3%
神奈川県	14,242	4.2%	51,559	15.0%	56,009	16.3%	78,646	23.0%	103,174	30.1%	39,029	11.4%	342,659	35.5%
新潟県	4,491	4.9%	15,038	16.3%	16,995	18.4%	21,576	23.3%	23,473	25.4%	10,929	11.8%	92,502	39.5%
山梨県	3,239	9.0%	5,480	15.3%	5,843	16.3%	7,425	20.7%	9,708	27.0%	4,207	11.7%	35,902	40.6%
長野県	2,849	3.6%	11,026	14.1%	12,983	16.6%	19,346	24.8%	22,643	29.0%	9,262	11.9%	78,109	34.4%
関東甲信越ブロック	98,657	5.1%	318,361	16.4%	340,080	17.6%	446,156	23.1%	526,195	27.2%	206,062	10.6%	1,935,511	39.1%
富山県	1,989	5.5%	5,184	14.4%	6,233	17.3%	9,168	25.4%	9,659	26.8%	3,816	10.6%	36,049	37.2%
石川県	2,391	5.5%	6,216	14.3%	7,094	16.3%	10,665	24.6%	12,124	27.9%	4,945	11.4%	43,435	36.1%
福井県	1,580	5.9%	3,892	14.5%	4,879	18.2%	6,346	23.6%	6,690	24.9%	3,472	12.9%	26,859	38.5%
岐阜県	3,928	5.9%	9,618	14.4%	11,836	17.7%	15,835	23.7%	17,383	26.0%	8,258	12.4%	66,858	38.0%
静岡県	7,238	5.6%	18,437	14.2%	23,771	18.3%	30,562	23.6%	34,738	26.8%	15,002	11.6%	129,748	38.1%
愛知県	16,343	5.6%	47,992	16.5%	56,862	19.6%	66,862	23.0%	72,721	25.0%	29,911	10.3%	290,661	41.7%
三重県	3,449	5.6%	9,047	14.6%	11,362	18.4%	15,760	25.5%	15,746	25.5%	6,403	10.4%	61,767	38.6%
東海北陸ブロック	36,918	5.6%	100,356	15.3%	122,037	18.6%	155,198	23.7%	169,061	25.8%	71,807	11.0%	655,377	39.6%
滋賀県	2,938	5.6%	7,452	14.2%	9,560	18.2%	12,863	24.5%	13,392	25.6%	6,195	11.8%	52,400	38.1%
京都府	5,607	5.2%	17,500	16.2%	16,100	14.9%	23,632	21.9%	30,214	28.0%	14,945	13.8%	107,998	36.3%
大阪府	19,599	5.0%	65,500	16.9%	66,300	17.1%	83,350	21.5%	107,258	27.6%	46,317	11.9%	388,324	39.0%
兵庫県	12,315	5.9%	33,587	16.2%	37,715	18.2%	47,745	23.0%	51,459	24.8%	24,726	11.9%	207,547	40.3%
奈良県	2,276	4.7%	7,180	14.9%	8,260	17.1%	10,522	21.8%	13,170	27.3%	6,784	14.1%	48,192	36.8%
和歌山県	2,486	6.3%	5,259	13.3%	6,800	17.2%	9,253	23.4%	10,389	26.3%	5,377	13.6%	39,564	36.8%
近畿ブロック	45,221	5.4%	136,478	16.2%	144,735	17.1%	187,365	22.2%	225,882	26.8%	104,344	12.4%	844,025	38.7%
鳥取県	1,119	5.1%	3,550	16.0%	4,850	21.9%	5,961	26.9%	4,575	20.7%	2,092	9.4%	22,147	43.0%
島根県	1,208	5.6%	2,931	13.7%	3,844	18.0%	5,275	24.7%	5,367	25.1%	2,760	12.9%	21,385	37.3%
岡山県	3,874	5.1%	12,032	15.9%	13,908	18.4%	19,422	25.7%	18,428	24.4%	7,898	10.5%	75,562	39.5%
広島県	5,796	5.0%	21,440	18.6%	23,377	20.3%	27,059	23.5%	26,535	23.0%	11,167	9.7%	115,374	43.9%
山口県	2,477	5.4%	5,956	12.9%	7,830	17.0%	11,571	25.1%	12,387	26.9%	5,877	12.7%	46,098	35.3%
徳島県	1,382	5.0%	4,267	15.6%	5,732	20.9%	6,847	25.0%	5,948	21.7%	3,198	11.7%	27,374	41.6%
香川県	1,892	5.3%	5,121	14.3%	7,066	19.8%	8,651	24.2%	8,823	24.7%	4,167	11.7%	35,720	39.4%
愛媛県	2,600	5.1%	9,615	19.0%	11,010	21.7%	12,773	25.2%	9,967	19.7%	4,756	9.4%	50,721	45.8%
高知県	1,364	4.9%	4,522	16.3%	5,452	19.6%	7,340	26.4%	6,054	21.8%	3,075	11.1%	27,807	40.8%
中国ブロック	21,712	5.1%	69,434	16.4%	83,069	19.7%	104,899	24.8%	98,084	23.2%	44,990	10.7%	422,188	41.3%
福岡県	10,563	4.9%	35,128	16.3%	40,946	19.0%	51,370	23.9%	52,652	24.5%	24,550	11.4%	215,209	40.3%
佐賀県	1,853	5.5%	5,017	14.9%	6,228	18.5%	7,917	23.5%	8,308	24.7%	4,366	13.0%	33,689	38.9%
長崎県	2,596	4.9%	8,376	15.7%	10,907	20.5%	13,587	25.5%	11,942	22.4%	5,796	10.9%	53,204	41.1%
熊本県	3,600	4.8%	10,200	13.6%	13,200	17.6%	18,043	24.0%	19,300	25.7%	10,700	14.3%	75,043	36.0%
大分県	2,245	4.7%	6,489	13.6%	8,951	18.7%	12,589	26.3%	11,906	24.9%	5,655	11.8%	47,835	37.0%
宮崎県	2,300	5.5%	6,010	14.5%	7,500	18.1%	10,220	24.7%	9,550	23.0%	5,868	14.2%	41,448	38.1%
鹿児島県	3,235	5.2%	9,900	15.8%	12,100	19.3%	15,853	25.2%	13,959	22.2%	7,751	12.3%	62,798	40.2%
沖縄県	3,548	6.4%	8,460	15.3%	13,100	23.7%	14,683	26.6%	12,991	23.5%	2,491	4.5%	55,273	45.4%
九州ブロック	29,940	5.1%	89,580	15.3%	112,932	19.3%	144,262	24.7%	140,608	24.1%	67,177	11.5%	584,499	39.8%
合計	261,520	5.2%	808,591	16.2%	906,742	18.1%	1,175,387	23.5%	1,290,368	25.8%	561,429	11.2%	5,004,037	39.5%

「令和7年度 献血啓発作品 ポスター原画」 優秀作品

血液は、医療に必要不可欠なものであるにもかかわらず、科学技術が著しく進歩した現在においても、未だ人工的に造り出すことができません。

この状況を受け、献血者数の減少が著しい10代・20代の若者をターゲットに、府内に居住又は通勤・通学されている15歳から28歳までの方を対象に「献血の重要性」、「輸血によって救われる命の大切さ」を啓発するポスター原画を募集しました。その結果、高校生を中心に278作品もの応募をいただき、厳正な審査を経て、下記のとおり、優秀作品を決定しました。

今後、本作品を使ったポスター等の啓発物品を作成し、様々な献血広報に活用する予定です。

募集期間 令和7年7月1日～令和7年9月30日

主催：大阪府 協力：日本赤十字社大阪府支部 協賛：大阪府赤十字血液センター

最優秀賞



大阪府立工芸高等学校
2年生 渡辺 菜月さん

優秀賞



大阪府立工芸高等学校
3年生 岸本 朱音 さん

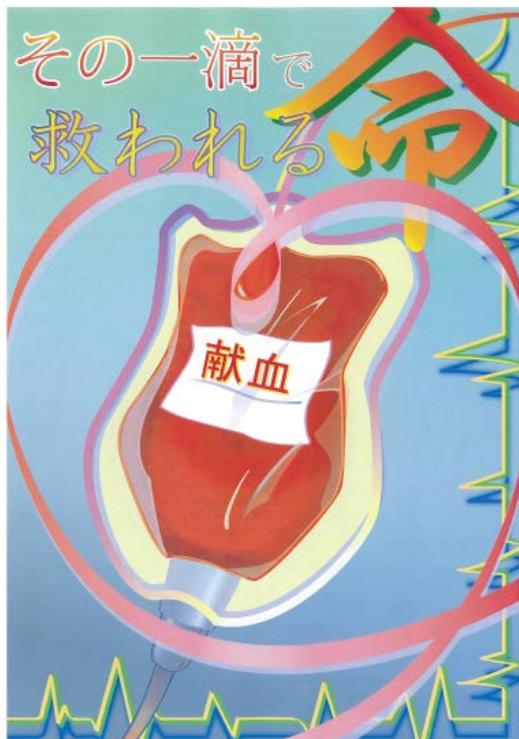


大阪府立工芸高等学校
1年生 田中 咲 さん

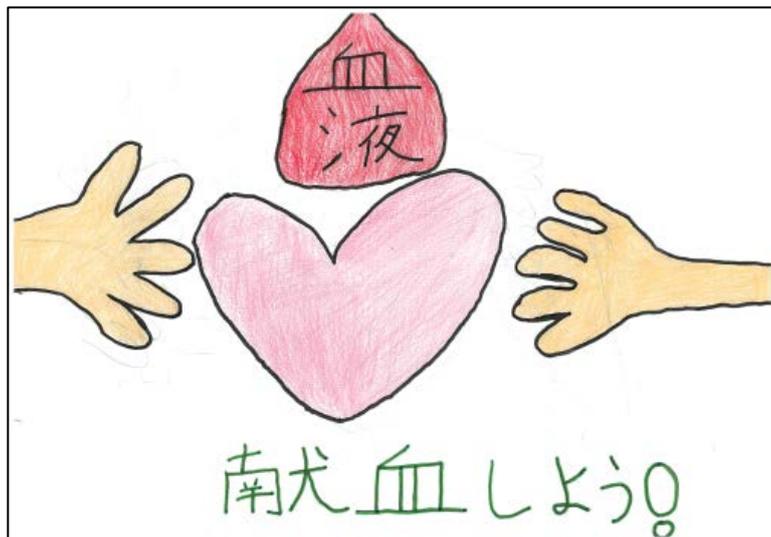


嵯峨美術大学
1年生 山口 玲奈 さん

入賞



大阪商業大学高等学校
2年生 蛭谷 夏綺 さん



大阪府立たまがわ高等支援学校
3年生 木村 真紀人 さん



堺リベラル高等学校
2年生 中澤 優月さん



樟蔭高等学校
3年生 東端 鈴 さん



大阪府立桜塚高等学校
1年生 廣田 類 さん



大阪府立芦間高等学校
2年生 安垣 八慧 さん



四條畷学園高等学校
1年生 梁川 蘭 さん

献血セミナー

○献血セミナーとは

学校に大阪府赤十字血液センターの職員が訪れ、献血や輸血について分かりやすく説明し意義や理解を深める出前講座。

実施の主体は、大阪府赤十字血液センターであり、実施に向けた周知については、大阪府、大阪府赤十字血液センター等が協力して行う。

○目的

生徒に日本赤十字社の活動を紹介し、健康といのちの大切さを伝える。献血をすることにより輸血を必要とする患者のいのちを救うことに自分たちも参加できるということを生徒たちに気付いてもらう機会とすること。

○献血セミナー内容

1. スライドによる説明

はじめに赤十字の沿革、理念、活動内容・実績を説明。その次に、献血についての説明の中でいのちの大切さを伝える。

2. 映像放映

献血に関する映像と輸血を受けた患者さんに関する映像を鑑賞する。

内容については、打ち合わせや事前の教員の方々への献血セミナーも実施可能であり変更も対応。

また、要望により輸血を受けた患者や、その御家族の感謝の声を伝える講演も行う。

○令和7年度献血セミナー実施回数（12月末現在）… **63回**

参考) 過去献血セミナー実施回数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
高等学校での実施	18	20	27	63	61

大阪府学生献血推進協議会 活動報告

大阪府学生献血推進協議会
副会長 廣田知



大阪府学生献血推進協議会とは

▶ 活動目的

若年層の献血者数の増加を図ること

▶ 構成員

大阪産業大学、近畿大学、関西福祉科学大学、
大阪経済大学、個人加盟



今年度の主な活動内容

- ▶ キャンペーン
 - ・七夕献血キャンペーン(7/6)
 - ・オータム献血キャンペーン(10/11)
 - ・クリスマス献血キャンペーン(12/20、21)
- ▶ 献血呼びかけ、セミナー
 - ・セレッソ献血(6/1)
 - ・けんけつおもしろゼミナール(8/8)
 - ・上宮高校での献血セミナー(11/27)



今年度の主な活動

- ▶ 定例会(昨年よりzoom参加導入)
 - ・新入生歓迎会(5/15)
 - ・上半期:毎月第四木曜日
 - ・下半期:毎月第三水or木曜日
- ▶ 森わく(キャンペーンの準備会)
 - ・七夕献血キャンペーン
 - ・オータム献血キャンペーン
 - ・クリスマスキャンペーン



キャンペーン結果報告



七夕献血キャンペーン

7/6(日)

HEPFIVE前

受付:57 不採血:13

400ml:41 200ml:3

献血者 計44名



オータム献血キャンペーン

10/11(土)

▶ アリオ八尾

受付:51 不採血:6
400ml:45 200ml:0

▶ HEPFIVE前

受付:57 不採血:13
400ml:41 200ml:3

▶ 阪急高槻市エミル入り口前

受付:56 不採血:9
400ml:47 200ml:0

献血者 計136名



クリスマス献血キャンペーン

12/20(土)

▶ HEPFIVE前

受付:48 不採血:12
400ml:33 200ml:3

▶ イオンモール鶴見緑地

受付:48 不採血:7
400ml:41 200ml:0

献血者 計96名



クリスマス献血キャンペーン

12/21(日)

▶ HEPFIVE前

受付:41 不採血:4
400ml:35 200ml:2

▶ 京橋駅前広場

受付:52 不採血:10
400ml:42 200ml:0

献血者 計79名



SNS運営



今年の反省

- ▶ 定例会やキャンペーンの参加者数が去年と比較して少なかった。

解決策：定例会→内容の事前周知

キャンペーン→早期募集の徹底

- ▶ SNS (Instagram、X) の活用が不足していた。

※フォロワー：Instagram 723人→759人

X 2159人→2140人

解決策：年間の投稿リスト作成、SNS班の見直し

